

福岡市バリアフリー基本計画
(アクションプラン)の実施状況について

【平成25年度】

平成26年1月

目次

第1 「福岡市バリアフリー基本計画」の基本理念と施策体系	1
第2 アクションプランに基づく取組みについて【平成25年度】	2
I ハード面のバリアフリー化	
1 旅客施設	2
(1)鉄道駅	
(2)福岡市営地下鉄全線	
(3)バスターミナル	
(4)旅客船ターミナル	
(5)航空旅客ターミナル	
2 車両等	7
(1)乗合バス	
(2)福岡市営地下鉄車両	
3 道路	8
(1)生活関連道路(重点整備地区内)	
(2)信号機(重点整備地区内)	
(3)エスコートゾーン	
(4)バス利用環境の改善	
4 公園	10
II ソフト面のバリアフリー化	
1 「心のバリアフリー」の推進	11
(1)啓発・育成・実践	
(2)バリアフリー情報発信	
2 移動支援の推進	14
III バリアフリー化の支援と進行管理	
1 スパイラルアップ	15

第1 「福岡市バリアフリー基本計画」の基本理念と施策体系

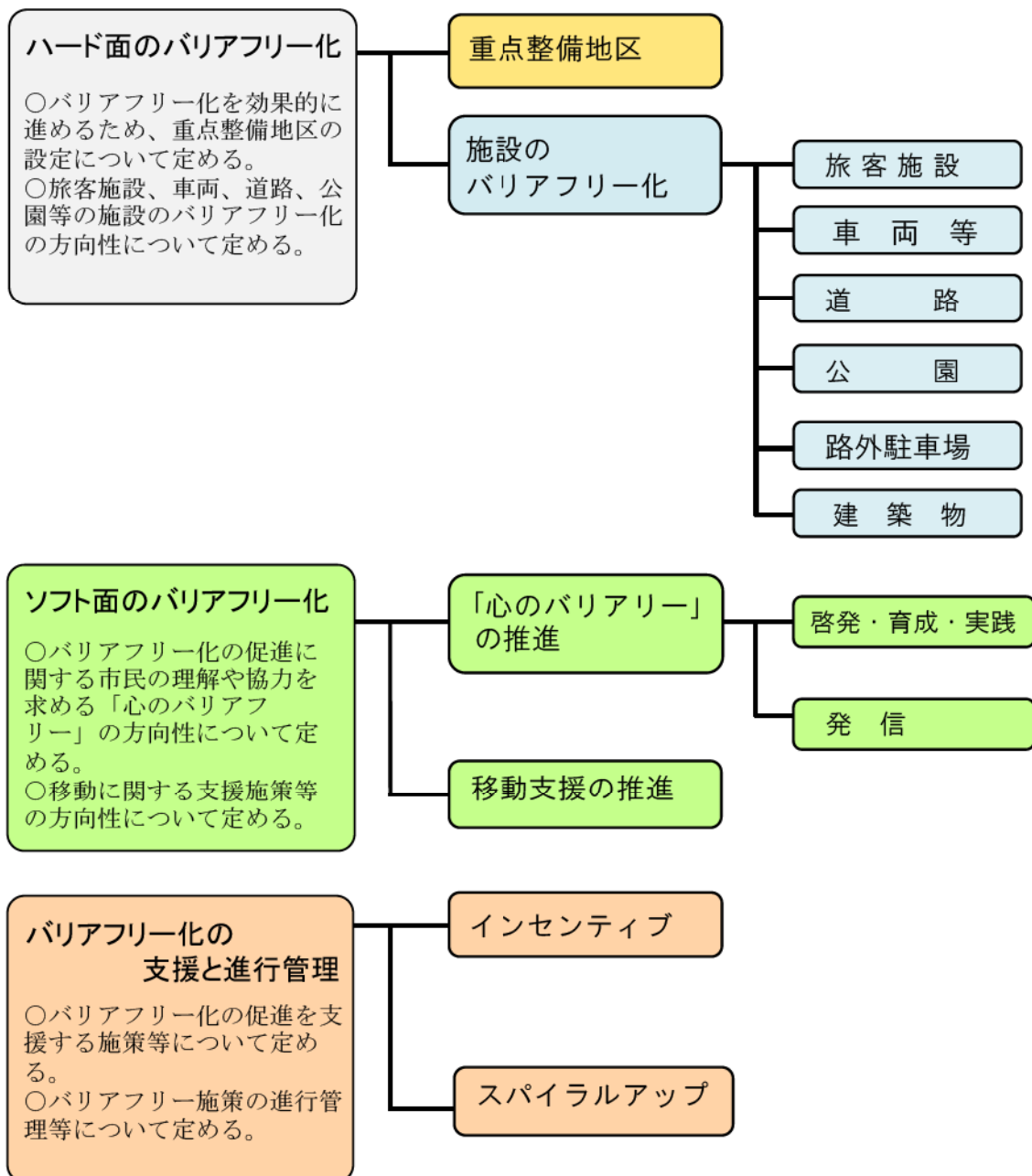
【基本理念】

本計画はバリアフリーの視点に立脚するものですが、ユニバーサルデザインの理念も踏まえて、すべての人にやさしい施設の整備や、すべての人がバリアフリー化の促進について理解し協力を惜しまない社会の実現をめざし、基本理念を次のとおりとします。

誰もが思いやりを持ち、すべての人にやさしいまちづくり

【施策体系】

本計画は、施設整備等のハード面の取組みを中心とする「ハード面のバリアフリー化」、
「心のバリアフリー」の推進など、ソフト面の取組みを中心とする「ソフト面のバリアフリー化」、及び「バリアフリー化の支援と進行管理」の3つの柱で構成されます。本計画の施策体系は、以下のとおりです。



第2 アクションプランに基づく取組みについて【平成25年度】

本アクションプランは、「福岡市バリアフリー基本計画」に定めるバリアフリー化推進の方向性や取組みの方向性に基づき、平成32年までの目標年次に向けて取り組む事業等について、〈前期〉の平成25年度から28年度までに着手・検討する項目を掲げています。記載していない項目においても、バリアフリー化推進に取り組んだ事業は随時追加します。

なお、福岡市バリアフリー推進協議会において、本アクションプラン(工程表)を基に進行管理及び取組内容等の検証等を行い、その結果に基づいて新たな取組みを講じることなどによりスパイラルアップを図っていきます。

平成25年度は、今年度実施した、または実施する予定の取組みについて報告します。

I ハード面のバリアフリー化

1 旅客施設

(1) 鉄道駅

①	段差の解消			
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組めます。 対象駅数:60			
指 標	段差が解消された駅数	現状値(24nd)	中間目標(28nd)	最終目標(32nd)
		57	60	60
平成25年度の取組み	1. 平成24年度に着工していた貝塚線三苦駅のエレベーター設置工事が平成25年5月に竣工・供用開始【西日本鉄道】 2. JR筑肥線下山門駅のエレベーター整備に着手【JR九州】 3. JR香椎線和白駅の段差解消について、関係者と協議を行った。【JR九州】 4. JR博多駅筑紫口と福岡市地下鉄との連絡通路(階段部)における所管用地内のエスカレーター設置について、福岡市交通局と協議を行った。【JR西日本】			
【関係機関】	○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市営地下鉄			

②	転落防止設備の整備			
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、内方線付点状ブロック又はホームドアの設置等によるホームからの転落防止設備の整備に取り組めます。 対象駅数:60			
指 標	転落防止設備の整備が完了した駅数	現状値(24nd)	中間目標(28nd)	最終目標(32nd)
		54	60	60
平成25年度の取組み	1. 貝塚線三苦駅の内方線付点状ブロック整備について、平成25年5月に整備済【西日本鉄道】 2. JR筑肥線下山門駅の内方線点状ブロック整備に着手【JR九州】 3. JR香椎線和白駅の内方線点状ブロック整備について、関係者と協議を行った。【JR九州】 4. JR新幹線博多駅の転落防止柵の開口部について内方線付点状ブロックが整備されていないため、今後の整備について福岡市及びJR九州と協議を行った。【JR西日本】			
【関係機関】	○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市営地下鉄			

③ 視覚障がい者誘導用ブロックの整備				
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、公共用通路など駅施設の外部から駅施設内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 対象駅数:60			
指 標	視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了した駅数	現状値(24nd)	中間目標(28nd)	最終目標(32nd)
		59	60	60
平成25年度の取組み	1. 貝塚線三苦駅における整備において、平成25年5月に改良整備済【西日本鉄道】 2. JR筑肥線下山門駅における整備に着手【JR九州】 3. JR香椎線和白駅の視覚障がい者誘導用ブロックの整備について、関係者と協議を行った。【JR九州】			
【関係機関】 ○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市営地下鉄				

④ 障がい者対応型便所の設置				
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の鉄道駅において、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 対象駅数:60			
指 標	障がい者対応型便所の整備が完了した駅数	現状値(24nd)	中間目標(28nd)	最終目標(32nd)
		58	60	60
平成25年度の取組み	1. 貝塚線三苦駅における整備において、平成25年5月に改良整備済【西日本鉄道】 2. JR筑肥線下山門の障がい者対応型便所の整備に着手【JR九州】 3. JR香椎線和白駅の障がい者対応型便所の整備について、関係者と協議を行った。【JR九州】			
【関係機関】 ○JR九州 ○JR西日本 ○西鉄 ○福岡市営地下鉄				

(2) 福岡市営地下鉄全線

① 情報案内設備の改善				
整備内容	(1)鉄道駅4項目のバリアフリー化(段差解消, 転落防止, 誘導ブロックの整備, 障がい者用トイレの整備)は整備済みであり, 今後も文字情報や音サイン等の情報案内設備の改善に取り組みます。 対象駅数:35			
	実施スケジュール	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	情報案内設備の改善	改善	→	→
平成25年度の取組み	箱崎九大前駅, 馬出九大病院前駅のトイレ入口に触知図, 音声誘導案内を年度内に整備予定。			
【関係機関】 ○福岡市営地下鉄				

(3) バスターミナル

① 段差の解消				
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上のバスターミナルにおいて、エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 対象ターミナル数:3			
指 標	段差が解消されたターミナル数	現状値(24nd)	平成25年度	平成28年度
		3	維持・保全	→
平成25年度の取組み	1. 既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。【天神バスターミナル、博多バスターミナル、藤崎バス乗継ターミナル】			
【関係機関】 ○天神バスターミナル ○博多バスターミナル ○藤崎バス乗継ターミナル				

② 視覚障がい者誘導用ブロックの整備				
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上のバスターミナルにおいて、公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 対象ターミナル数:3			
指 標	視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了したターミナル数	現状値(24nd)	平成25年度	平成28年度
		3	維持・保全	→
平成25年度の取組み	1. 既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。【天神バスターミナル、博多バスターミナル、藤崎バス乗継ターミナル】			
【関係機関】 ○天神バスターミナル ○博多バスターミナル ○藤崎バス乗継ターミナル				

③ 障がい者対応型便所の設置				
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上のバスターミナルにおいて、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 対象ターミナル数:3			
指 標	障がい者対応型便所の整備が完了したターミナル数	現状値(24nd)	平成25年度	平成28年度
		3	維持・保全	→
平成25年度の取組み	1. 既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。【天神バスターミナル、博多バスターミナル、藤崎バス乗継ターミナル】			
【関係機関】 ○天神バスターミナル ○博多バスターミナル ○藤崎バス乗継ターミナル				

(4) 旅客船ターミナル（福岡市有施設のみ）

① 段差の解消			
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数は3千人未満ですが、福岡市の重要な海上交通機関である旅客船ターミナルにおいて、エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 対象ターミナル数:9		
指 標	段差が解消されたターミナル数	現状値(24nd)	平成25年度
		9	維持・保全
平成25年度の取組み	施設の維持・保全に努めた。		
【関係機関】 福岡市港湾局(○国際ターミナル ○博多ふ頭第2ターミナル ○市営渡船待合所)			

② 視覚障がい者誘導用ブロックの整備			
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人未満ですが、福岡市の重要な海上交通機関である旅客船ターミナルにおいて、公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 対象ターミナル数:9		
指 標	視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了したターミナル数	現状値(24nd)	中間目標(28nd)
		1	4
			最終目標(32nd)
			9
平成25年度の取組み	1. 平成24年度に着工していた博多ふ頭第2ターミナルの視覚障がい者誘導用ブロックの整備が、7月に完了。 2. 平成26年3月に姪浜旅客待合所と能古旅客待合所に視覚障がい者誘導用ブロックの整備予定。		
【関係機関】 福岡市港湾局(○国際ターミナル ○博多ふ頭第2ターミナル ○市営渡船待合所)			

③ 障がい者対応型便所の設置			
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人未満ですが、福岡市の重要な海上交通機関である旅客船ターミナルにおいて、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 対象ターミナル数:9		
指 標	障がい者対応型便所の整備が完了したターミナル数	現状値(24nd)	中間目標(28nd)
		8	8
			最終目標(32nd)
			9
平成25年度の取組み	平成26年3月に姪浜旅客待合所と能古旅客待合所にオストメイト対応トイレを設置予定。		
【関係機関】 福岡市港湾局(○国際ターミナル ○博多ふ頭第2ターミナル ○市営渡船待合所)			

(5) 航空旅客ターミナル

①		段差の解消		
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の航空旅客ターミナルにおいて、エレベーター又はスロープの設置等による段差解消に取り組みます。 対象ターミナル数:3			
指 標	段差が解消されたターミナル数	現状値(24nd)	平成25年度	平成28年度
		3	維持・保全	→
平成25年度の取組み	既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。			
【関係機関】 ○福岡空港(国内線旅客第1ターミナル, 国内線旅客第2・第3ターミナル, 国際線旅客ターミナル)				

②		視覚障がい者誘導用ブロックの整備		
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の航空旅客ターミナルにおいて、公共用通路などターミナルの外部からターミナル内にアプローチし、車両等へスムーズに乗降できるよう、連続性のある視覚障がい者誘導用ブロックの整備に取り組みます。 対象ターミナル数:3			
指 標	視覚障がい者誘導用ブロックの整備が完了したターミナル数	現状値(24nd)	平成25年度	平成28年度
		3	維持・保全	→
平成25年度の取組み	既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。			
【関係機関】 ○福岡空港(国内線旅客第1ターミナル, 国内線旅客第2・第3ターミナル, 国際線旅客ターミナル)				

③		障がい者対応型便所の設置		
整備内容	1日当たりの平均的な利用者数が3千人以上の航空旅客ターミナルにおいて、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 対象ターミナル数:3			
指 標	障がい者対応型便所の整備が完了したターミナル数	現状値(24nd)	平成25年度	平成28年度
		3	維持・保全	→
平成25年度の取組み	既に整備基準に適合した状態であり、施設の維持・保全に努めた。			
【関係機関】 ○福岡空港(国内線旅客第1ターミナル, 国内線旅客第2・第3ターミナル, 国際線旅客ターミナル)				

2 車両等

(1) 乗合バス

① ノンステップバスの導入				
整備内容	車両更新時にノンステップバスの導入に取り組みます。			
指 標	導入されたノンステップバス数	現状値(24nd)	平成25年度	平成28年度
		34	継続導入	→
平成25年度の取組み	1. ノンステップバスについて、88台導入予定(計118台)【西日本鉄道】 2. ノンステップバスについて、1台導入済(計5台)【JR九州バス】 3. ノンステップバスの導入予定はないが、今後の導入を視野に入れ協議を継続中【昭和自動車】			
【関係機関】 ○西鉄 ○昭和自動車 ○JR九州バス				

(2) 福岡市営地下鉄車両

① 地下鉄車両のバリアフリー化				
整備内容	車いすスペースを滑りにくい床表面とします。 車いすスペースのある車両数:178			
指 標	車いすスペースを滑りにくい床表面とした車両	現状値(24nd)	平成25年度	平成26年度
		34	178	維持・保全
平成25年度の取組み	整備対象としていた車いすスペースについては、平成25年7月末までに滑りにくい床表面とした。また、併せて、地下鉄車両の全箇所の車いすスペースを『優先スペース』として、車両の内外に案内表示を行い、車いす・ベビーカー等をご使用のお客様が安心してご利用できるようにした。			
【関係機関】 ○福岡市営地下鉄				

3 道路

(1) 生活関連経路（重点整備地区内）

① 道路のバリアフリー化				
整備内容	重点整備地区内の生活関連施設相互を結ぶ道路のバリアフリー化に取り組みます。 整備内容：歩道の段差解消，視覚障がい者誘導用ブロック敷設など 対象延長：43.56km			
指 標	バリアフリー化整備が完了した道路延長 (km)	現状値(24nd)	中間目標(28nd)	最終目標(32nd)
		30.88	38.08	41.65
平成25年度の取組み	1. 「春吉橋を核とした空間利活用に関する技術研究会」において，空間利活用の方向性について検討中であり，あわせてバリアフリー化整備も実施予定。【福岡国道事務所】 2. 一部区間の視覚障がい者誘導用ブロックにおいて，利用者意見を踏まえた改善を予定。【福岡国道事務所】 3. 重点整備地区内の生活関連道路について，バリアフリー整備の現況を調査し，中間及び最終目標を設定した。【福岡市道路下水道局】 4. 重点整備地区内の生活関連経路については，今後の第二期展示場等の進捗状況を踏まえ，検討する。【福岡市港湾局】			
【関係機関】 ○福岡市(道路下水道局，住宅都市局，港湾局) ○福岡国道事務所				

(2) 信号機（重点整備地区内）

① 信号機のバリアフリー化				
整備内容	重点整備地区内の生活関連経路における信号機のバリアフリー化に取り組みます。 整備内容：音響式付加信号，視覚障がい者用付加信号，高齢者感応式信号，歩車分離式信号などの設置 対象箇所数【196】			
指 標	バリアフリー化された信号機	現状値(24nd)	中間目標(28nd)	最終目標(32nd)
		159	181	196
平成25年度の取組み	1. 新たな重点整備地区の設定に伴う信号機の現況調査等を実施 2. 都心部地区を重点に10箇所を整備			
【関係機関】 ○福岡県公安委員会(福岡県警)				

(3) エスコートゾーン

① エスコートゾーンの設置				
整備内容	横断歩道における視覚障がい者の誘導対応として，必要に応じてエスコートゾーンの設置に取り組みます。			
指 標	エスコートゾーンの設置数	現状値(24nd)	平成25年度	平成28年度
		3	適宜	→
平成25年度の取組み	1. 利用者意見を踏まえ，要望があれば設置について検討する。【福岡国道事務所】 2. 利用者意見を踏まえ，設置について検討中。【福岡市道路下水道局】			
【関係機関】 ○福岡市道路下水道局 ○福岡国道事務所 ○福岡県公安委員会(福岡県警)				

(4) バス利用環境の改善

① 歩道のマウントアップ			
整備内容	ノンステップバス導入路線を中心として、バス停での乗降しやすさを改善するため、バス停部における歩道のマウントアップ整備に取り組みます。		
指 標	バス停部におけるマウントアップされた歩道 (重点整備地区内の生活関連経路)	平成25年度 現況調査	平成28年度 →
平成25年度の取組み	1. 重点整備地区内の生活関連経路において、対象箇所を調査し、指標を設定【福岡市道路下水道局】 2. 対象箇所の現況調査を行い整備について検討する。【福岡国道事務所、福岡市港湾局】		
【関係機関】 ○福岡市道路下水道局 ○福岡市港湾局 ○福岡国道事務所			

② 利用環境の改善				
整備内容	バス停の利用改善のため、上屋やベンチの設置促進に取り組みます。 ①路線バス事業者による設置の促進 ②ベンチ設置許可条件の緩和 ③道路管理者による設置の検討			
指 標	上屋やベンチの設置促進	平成24年度 設置許可条件の緩和 設置条件等の検討	平成25年度 試行設置	平成26年度 試行設置
平成25年度の取組み	1. 市域内バス停2箇所において、上屋及びベンチを設置予定【西日本鉄道】 2. バス事業者との棲み分けを調整の上、事業化に向けた検証として、市域内バス停2箇所にて上屋及びベンチを設置【福岡市道路下水道局】			
【関係機関】 ○福岡市道路下水道局 ○西鉄 ○昭和自動車 ○JR九州バス				

4 公園

○福岡市が設置・管理する公園

① 園路及び広場のバリアフリー化				
整備内容	福岡市が設置・管理する公園において、園路及び広場のバリアフリー化整備に取り組みます。 整備内容:有効幅員の確保, 段差の解消など 対象公園数:H25年度の現況調査により確定する			
指 標	園路及び広場のバリアフリー化	平成24年度	平成25年度	平成26～32年度
		整備	現況調査 整備	整備
平成25年度の取組み	1. 対象公園箇所数は、現在現況調査中であり、H25年度中に調査結果をまとめ検討する。 2. 公園を新設及び再整備する際に園路・広場の整備を行った。:11公園			
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局				

② 駐車場のバリアフリー化				
整備内容	福岡市が設置・管理する公園において、駐車場がある場合には駐車場のバリアフリー化整備に取り組みます。 整備内容:車いすスペースの確保など 対象公園数:H25年度の現況調査により確定する			
指 標	駐車場のバリアフリー化	平成24年度	平成25年度	平成26～32年度
		—	現況調査	整備
平成25年度の取組み	1. 対象公園箇所数は、現在現況調査中であり、H25年度中に調査結果をまとめ検討する。 2. 今年度該当なし			
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局				

③ 障がい者対応型便所の設置				
整備内容	福岡市が設置・管理する公園において、便所がある場合には障がい者対応型便所の整備に取り組みます。 対象公園数:H25年度の現況調査により確定する			
指 標	障がい者対応型便所の整備	平成24年度	平成25年度	平成26～32年度
		整備	現況調査 整備	整備
平成25年度の取組み	1. 対象公園箇所数は、現在現況調査中であり、H25年度中に調査結果をまとめ検討する。 2. 公園を新設及び再整備する際に障がい者対応型便所の整備を行った。:4箇所 3. 便所を改築する際に障がい者対応型便所を整備する予定。:1箇所			
【関係機関】 ○福岡市住宅都市局				

Ⅱ ソフト面のバリアフリー化

1 「心のバリアフリー」の推進

(1) 啓発・育成・実践

バリアフリー化促進にかかる市民の理解と協力を求める「心のバリアフリー」を全市的に発展させます。

〔啓発〕

① 幅広い市民を対象とした取組み	
取組内容	障がい者週間などの既存行事やバリアフリー表彰などに合わせたシンポジウム等の開催を検討します。
実施スケジュール	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度
幅広い市民を対象とした啓発	検討 実施 → →
平成25年度の取組み	「障がい者週間記念の集い」を開催し、市民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるステージイベントを開催した。(主催:福岡市,実施主体:福岡市障害者関係団体協議会) ・2012年ロンドンパラリンピック選手トークショー ・障がい者施設商品の販売,福祉車両の展示 など

〔啓発〕

② 啓発ツール等の作成	
取組内容	啓発行事や出前講座,研修会などにおいて活用する啓発ツール等の作成に取り組みます。
実施スケジュール	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度
啓発ツール等の作成	調査・検討 作成 活用 →
平成25年度の取組み	出前講座や施設整備担当者研修を実施するにあたり,その地域におけるバリアフリー事例や公共施設のバリアフリー事例を組み入れて,分かりやすく親しみやすい説明資料を作成した。

〔育成〕

① 出前講座など	
取組内容	地域団体や民間企業,児童・生徒など,対象者ごと出前講座や教育を進めます。
実施スケジュール	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度
出前講座や教育の実施	実施 広報 → → →
平成25年度の取組み	公民館が主催する高齢者教室「舞鶴大学」において,バリアフリーのまちづくりに関する出前講座を実施した。(参加者20人)

〔育成〕

② 施設整備担当者研修	
取組内容	バリアフリー整備に携わる人に対する整備基準の考え方,実際の利用者の声などを内容とする技術研修の実施に取り組みます。
実施スケジュール	平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度
施設整備担当者研修の実施	検討 実施 → →
平成25年度の取組み	電設業会が主催する研修会において,バリアフリー整備に関する研修を実施予定。

〔育成〕

③ 行政職員研修				
取組内容	新規採用職員や公共施設整備の担当職員に対するバリアフリー体験研修，公共施設整備の担当職員向け技術研修の実施に取り組みます。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
行政職員研修の実施	実施	→	→	→
平成25年度の取組み	公共施設の整備や管理を行う福岡市職員を対象に国土交通省のバリアフリー体験施設で研修を実施した。(参加者10名) 福岡市職員を対象にした技術研修「ユニバーサルなまちづくり(みんなにやさしい施設整備を進めるために)」を実施した。(参加者39名)			

〔実践〕

① 「バリアフリーマップ」の更新・調査				
取組内容	市民参加の新たな手法による「福岡市バリアフリーマップ」の更新，調査に取り組みます。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市民参加による「バリアフリーマップ」の更新・調査	調査方法及び更新方法等の検討・調整		新たな手法による更新	→
平成25年度の取組み	「福岡市バリアフリーマップ」のホームページに，NPO法人や民間事業者が作成したバリアフリー情報へのリンクを設定した。 ・音声による道案内 ・都心部施設のバリアフリー情報 など			

〔実践〕

② 共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくり				
取組内容	利用者の声を施設設置管理者に伝えるとともに，意見交換等により共働でバリアフリー推進を図る仕組みの構築や「まち歩き」に取り組みます。			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくり	他都市調査 制度設計・試行		稼働	→
まち歩き	実施	→	→	→
平成25年度の取組み	共働でバリアフリー化を推進する仕組みづくりについては，他都市の事例を収集し，本市への導入可能性について検討を行っている。			

(2) バリアフリー情報発信

ハード整備やソフトの取組み成果を積極的に発信し，市民の社会参加を促進します。

① バリアフリー表彰制度				
取組内容	バリアフリーの推進に関して功績のあった者に対する表彰を行い，優れた取組みの普及，啓発の促進に取り組みます。(「ユニバーサル都市・福岡」の推進との連携)			
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
バリアフリー表彰制度の実施	実施	→	→	→
平成25年度の取組み	ユニバーサル都市・福岡賞において，バリアフリー優良事例を含む取組みについて表彰を行った。 ・全ての人に使いやすく心地よい店舗の整備 ・安全，快適に配慮された製品開発 など			

②		バリアフリー優良事例等の収集と公表			
取組内容	バリアフリー表彰制度と併せて、優れた取組みや的確な工夫、アイデアなどの優良事例を収集し、情報発信に取り組みます。				
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
バリアフリー優良事例等の収集と公表	事例収集	→ 発信	→ →	→ →	
平成25年度の取組み	ユニバーサル都市・福岡賞を受賞したバリアフリー優良作品などの内容を情報発信できるようホームページの作成に取り組んでいる。				

③		進捗状況の公表			
取組内容	福岡市バリアフリー基本計画の進捗状況の公表を行います。				
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
バリアフリー基本計画の進捗状況の公表	公表	→	→	→	
平成25年度の取組み	アクションプランに基づく平成25年度の取組みについて市ホームページに掲載予定。				

2 移動支援の推進

既存のハード面を補完し、移動を支援していくソフト面のバリアフリー化に取り組みます。

①		わかりやすい案内表示等の研究			
取組内容	主要な駅等を中心に商業施設や公園等の生活関連施設を含むエリア等を対象に、歩道や信号機のバリアフリー化にも合わせて、全ての移動者に分かりやすいサインや案内表示等のあり方等の研究に取り組みます。(施設整備マニュアル改訂と連携)				
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
わかりやすい案内表示等の研究	調査・研究	ガイドライン策定	→	→	
平成25年度の取組み	公共サインや外国人への情報提供を所管する関係部署と連携を図り、わかりやすい案内表示等のあり方について検討を進めている。				

②		「バリアフリーマップ」の更新・調査【再掲】			
取組内容	市民参加の新たな手法による「福岡市バリアフリーマップ」の更新、調査に取り組みます。				
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
市民参加による「バリアフリーマップ」の更新・調査	調査方法及び更新方法等の検討・調整		新たな手法による更新	→	
1 「心のバリアフリー」の推進(再掲)					
平成25年度の取組み	「福岡市バリアフリーマップ」のホームページに、NPO法人や民間事業者が作成したバリアフリー情報へのリンクを設定した。 <ul style="list-style-type: none"> ・音声案内による道案内 ・都心部施設のバリアフリー情報 など 				

Ⅲ バリアフリー化の支援と進行管理

1 スパイラルアップ

バリアフリー化の段階的・継続的な発展を図ります。

①		施設整備マニュアルの改訂			
取組内容	福岡市バリアフリー基本計画に定めるバリアフリー推進の方向性や社会情勢の変化への対応なども踏まえ、福岡市まちづくり条例施行規則に定める整備基準等をまとめた『施設整備マニュアル』の改訂に取り組みます。				
実施スケジュール	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
施設整備マニュアルの改訂	改訂	→ 普及・啓発	→	→	
平成25年度の取組み	施設整備マニュアルについては、利用者や学識経験者などで構成する「福岡市バリアフリー整備研究会」を設置するとともに高齢者や障がい当事者などへのアンケート調査を実施し、見直しの内容について協議検討を進めている。(平成26年度改訂予定)				